

2006年における韓国の麻疹排除指標達成

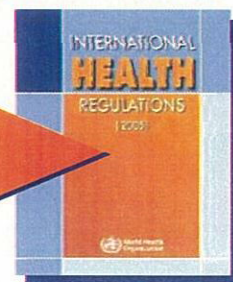
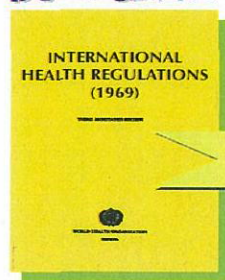
WHO(WPRO)による指標

韓国(2006年5月)の達成状況

- 低い麻疹の発生
 - 100万人当たり1例以下の確定例の報告 (輸入例を除く)
 - 100万人当たり0.9例 (検査確定例、輸入例は除く)
- 質の高いサーベイランス
 - 10万人当たり1人以上(年)の疑い例報告が80%以上の地域よりある
 - 10万人当たり0.32例(全国) 6.7% (16県中1県)
 - 疑い例の80%以上でIgM検出実施
 - 95.5% (63/66 例)
 - 各確定例におけるウイルス分離
 - 8 株のウイルス分離(H1)
- 麻疹に対して95%以上の免疫能を有
 - >95%麻疹含有ワクチン2回接種率
 - 99%以上
 - 輸入例に端を発するアウトブレイクが3ヶ月以下の期間で100例以下であること
 - 3例(輸入例より)

NIP
VPD Control & National Immunization Program

2007年6月:感染症などに対する国際的な監視の強化→改訂国際保健規則*の実施



- **黄熱、コレラ、ペストのみへの対応からあらゆる公衆衛生上の脅威への対応へ**
 - Public Health Emergency of International Concern (PHEIC): “国際的な懸念を有する公衆衛生上の緊急事態”
- 予め決まった対応から内容に応じた対応へ
- 国境での管理という観点に含め原因の封じ込めへ

WHOスライドを一部改変